

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 児童デイサービス のあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・設置基準は十分に満たしています。それぞれの活動に合わせて、マットやパーテーションを使って、活動場所を区別して使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・加配加算がとれる人員を配置しています。(人員配置基準以上に専門的な知識を持つ者を配置し十分な人員によりサービス提供することを評価する加算)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・玄関の段差は可動式スロープがあり、手すり付きの多目的トイレも設置しています。 <b>改善目標:今すぐには必要ありませんが将来的に配慮が必要な児童が利用する場合には適切に対応します。</b>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・のあの全スタッフがモニタリングや各会議、ミーティング等に参加しています。業務改善が必要な場面では、その都度確認を行い、会議等においてスタッフ全員で情報を共有し業務改善につなげています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・毎年アンケート調査を実施して保護者の意向をくみ取り、事業所の運営に役立て、満足していただけるよう常に業務改善を行なっております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・毎年実施して結果をホームページで公表しています。今後も毎年続けて行なっていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	・現在、外部評価は実施していません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・毎月1回、業務に関する事項について「放デイ職員研修会」を開催しています。研修内容は年間スケジュール化しています。スタッフの意見も考慮して、今後も継続して行なって行きたいと考えています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・保護者との面談を基本とし、課題の整理表などを使いながら計画を作成しています。今年度は、8月に1度面談を実施しましたが、コロナ感染拡大のため2月は面談を行わず文書での説明、聞き取りを行ないました。目標に対する支援経過、今後の支援について詳しく明記し、保護者の方の意向をうかがい、それを元にモニタリングを行ないます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・事業所独自のアセスメントシートを使用しています。標準化されたアセスメントツールに関しては、学校やかかりつけの医師の元に行なった検査結果を共有させてもらうこともあります。その他、毎年基本情報シートに保護者から記入してもらい、最新の状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・療育活動はテーマが偏らないようにそれぞれ担当者が立案後、スタッフ会議にてスタッフ全員で検討しています。今後も複数のスタッフで担当して、様々な活動を取り入れられるよう配慮していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・各担当者が得意とする分野で、日々テーマがローテーションするように工夫して行なっています。ガイドラインに沿った様々な活動や季節に合わせた活動を取り入れています。 <b>改善目標:ガイドラインの内容を再度全スタッフで確認し、コロナのため行なうことができない「地域との交流」について来年度は、感染対策を行ないつつ開催できるよう検討したいと考えています。</b>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	・できるだけきめ細やかに支援できるように設定しています。また、平日できないことを長期休みなどに、長めに時間を取って継続的に取り組むことができます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・利用児童全員が満足できる活動を提供できるよう努力しています。また、それぞれの強味、特性や課題、興味関心を考慮し計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎日、支援開始前にスタッフミーティングを行ない情報の共有や確認に努めています。急な変更を伝え忘れることがないように、メモ書き等も活用しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・それぞれが送迎に出してしまうため、打ち合わせの時間を設けることはできませんが、気付いた点や申し送りが必要な事項は共有しています。また、支援中も各スタッフがそれぞれの視点で気付いたことをメモしているため、それを読み返すことでその日のうちに情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・誰が読んでも分かりやすい文章を心掛け、ケース記録を作成しています。記録のポイントなどについては職員の研修内容にも取り上げて、より良い記録になるように心掛けています。支援経過については、モニタリングの際にも参考資料として活用し検証や改善につなげています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・放課後等デイサービス計画の作成方法についてはスタッフ研修でも取り上げています。保護者の意向も聞き取りをして、支援経過を見直し、今後必要なことを明確にしスタッフ全員で話し合いをして判断しています。モニタリングは6か月に1度確実に実施しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	・様々な活動内容を取り入れて支援しています。再度ガイドラインを見直して、全スタッフで基本活動について周知を行ないました。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・主に児童発達支援管理責任者や主任が参加しています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・急な対応が必要な場合も適切に行なっています。保護者と連絡が取れない場合でも、直接学校と連絡を取り、スムーズに支援が行なえるよう配慮しています。コロナのため急な臨時休校や登校自粛等があった場合でも、保健所や学校のガイドライン等を参考にしながら、事業所外支援での対応もしています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	・現在、受け入れていません。現段階では対応できる設備等がありません。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・児童発達支援センターからは情報をいただいたり、困った際には相談し、アドバイスをいただいたりしています。今後も専門的なアドバイスがほしい場合、様々な機関を活用して支援できるように連携を図っていきます。現在はコロナで訪問が難しいため、書面や電話での情報共有のみとなっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	・今年度はないが、以前は移行会議等で提供しています。今後も必要があれば提供していきます。法人内の事業所に1名移行した実績がありますが、現在でも、必要があれば情報提供やアドバイスをこなっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・研修は受けていませんが、児童発達支援センターからは情報やアドバイスをいただいたり、相談したりしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	・コロナ感染症拡大防止のため今年度は行われていません。 改善目標:美保野小学校廃校に伴い、以前のように交流が行なうことが難しくなりましたが、コロナ感染が落ち着いた時には新たに交流できる場所を探して、計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	・協議会などには法人の代表が参加しているが、コロナで今年度は開催されていません。開催の際は毎回積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時は口頭で、連絡ノートでは毎日の様子を伝え、普段と違う行動などについてその都度確認し、家や学校での様子も聞いて確認し、共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	・専門の指導員が必要なペアレント・トレーニングは行なっていますが、必要時は保護者に対してもアドバイスや支援を行なっています。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・直接送迎で会った際や、日々の連絡ノート、メール、電話等を活用して必要時には対応しています。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	・今年度はコロナで開催できない状況ですが、コロナが落ち着いた際には開催したいと考えています。 改善目標:次年度は感染対策等を充分にし、屋外で開催できる内容を計画するなど、工夫して行なっていきたいと考えています。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・体制は整備しています。のあの玄関に意見箱も設置し、オンブズマンの来訪も毎回お知らせしています。また、苦情があった場合には適切に対応しています。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・月1回発行ののあだより、法人からは年1回ゆ〜とぴあだよりを発行しています。その他、随時ホームページで情報を発信しています。今年度はホームページを新しく児童専用のものでしたくさんの情報が掲載できるようになりました。
35		個人情報に十分注意している	5	0	・充分留意していて、ブログなどでの写真を使用する際も気を付けて使用しています。情報提供が必要な際は、必要最低限にとどめて対応しています。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・丁寧に意思の疎通を図っています。個々の特性に合わせて、本人が分かりやすい方法で意思の疎通を行ない、できるだけ本人の意思を理解するために努力し、理解が難しい場合などは保護者に相談しています。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	・今年度はコロナ禍で交流できる行事の実施は難しい状況です。唯一開催された美保野地区のゴミ拾いに参加しました。例年であれば、新年の集い、餅つき会などで地域の交流しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	・すべて整備していますが、保護者への周知が不足しています。今後はホームページの会員ページを活用して周知を図っていきます。職員への周知はなされています。各マニュアル等に関しては年2回、閲覧を行ない、定期的に読み返して一貫した対応が誰でもできるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・訓練の計画もスタッフ会議にて全員で話し合っています。避難訓練に加え、防犯訓練、リヴェール合同総合避難訓練、風水害避難訓練など様々なことを想定し訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・定期的にスタッフ会議で新聞記事を取り上げ、様々な事例を知り支援に役立てています。ストレスチェックなどを実施するなど法人全体取り組み、虐待防止に対しての意識を高めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	・身体拘束が必要な児童は現在はいません。必要があれば適切に対応します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・現在アレルギーのある子はいませんが、アレルギーのある子が利用する際は考慮します。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・事業所内はもちろん、法人内の他の部署での事例もスタッフ会議で周知し共有しています。今後はヒヤリハット報告書をファイルにまとめていつでも読み返すことができるようにして、同じ事例が起らないように努めます。	